



# 龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

	2025-26 年度	例 会：毎週木曜日 12:30～13:30 龍野経済交流センター1 階
	会 長 伊藤充弘 幹 事 神名大典 公共イメージ・広報委員長 段 克史	事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsunorc1@gmail.com

No.12 (3214 号) 2025 年 (令和 7 年) 10 月 2 日 (木) 晴  
例会記録

点 鐘 君が代  
奉仕の理想  
来 客 なし  
来訪会員 なし

## 出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メイクアップ	修正出席率
21	17	3	4	89.47%	4	3	94.73%

## 会長の時間 ●伊藤会長

ロータリーのビジョン実現に向けて設定されたアクションプランについて今回もお話させていただきます。今回は 2 番目の「参加者の基盤を広げる」についてのお話でした。今週は 3 番目の「参加者の積極的なかわりを促す」についてのお話になります。

その具体的な内容につきましては、ロータリーのビジョン宣言のページに以下のように書かれています。

1. クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
2. 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
3. 個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
4. リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

参加のできる研修や奉仕事業はかなり多くあります。地区補助金を使った奉仕事業については地区から案内が来ますので、回覧でご覧になられたことがあると思います。これらの中で、1 番の積極的参加を促すことと 4 番のリーダーシップとスキルの研修につきましては、対象となる立場

の方に参加の機会があることを案内してきておりましたが、参加の価値についての説明不足があったと以前の理事会でも指摘されており、今後は対象となる方が大切なチャンスを逃すことが無いよう積極的な参加を促していこうと考えています。

3 番の他クラブのメンバーなどとのつながりを築く機会の提供は、研修や奉仕事業への参加、見学等を通してだけで繋がりを得られますので、積極的な参加を促すことで対応できると思います。特に、地区の研修はセミナー形式ではなくグループディスカッションのように 7～8 人のグループに分かれて意見を述べ合うというラーニング形式となっております。その為同じグループの方々とはすぐに打ち解けて、気軽に話が出来る関係性を持つことが出来ます。地区の研修は大変勉強になるだけでなく、知り合いを増やす良い機会になりますのでチャンスがあれば、是非積極的に参加してみてください。

分かりにくいのが 2 番です。実施される奉仕事業や研修などの価値を会員が得られやすくなるように、会員が参加しやすいように仕組みや制度を作って支援するということのようにです。龍野ク



クラブでは今のところ特に支援体制は出来ていませんが、参加された方などからどのような支援が必要かを伺いながら、進めて行ければと考えています。

オリンピックと同様に「参加することに意義が

ある」というスタンスで、会員にとってより以上の意義を感じていただければロータリーの会員である価値がこれまで以上に高まるのではないかと思います。

## 例会プログラム

「ロータリークラブのガバナンス」 ●本條 昇会員



### 1.ガバナンスとは

ガバナンス（組織統治）とは、組織がその目的に即して正しく機能する為の統制メカニズムです。ガバナンスは人間の体で喩えれば背骨のようなもので、ガバナンスが健全なら背筋が伸びた状態、不全であればだらしない姿となり、後者のような組織は世間から尊敬も信頼もされず、人も寄ってきません。従って、組織の持続にとってガバナンスは必須の課題です。

一般的にガバナンスの要諦は、①組織体制（組織単位／役職ごとの機能・役割＝責任と権限の体系）と②規準（＝規定と方針）の二つです。

### 2.ロータリーの組織体制

ロータリー組織に於いては、全ロータリークラブの連合体である国際ロータリー（RI）が、総括的監理者たる RI 理事会、及び立法機関である規定審議会並びに決議審議会を通じて、①クラブの RI 加盟・脱退、②ロータリーの運営にかかる普遍的な枠組みづくり、③時代のニーズに合った運動の方向性などについて、ロータリー全体の意思決定／総意形成の役割を担っています。

これによって、世界のクラブと会員が、同じ理念・価値観のもとに、同じ目標に向かって活動することを可能にしています。

クラブは、ゾーン選出理事及び地区選出代表議員を介して RI の運営に参画する仕組みとなっています。

### 3.ロータリーの規準

ロータリーの組織規程としては、RI レベルでは、

①RI 定款、②RI 細則、③ロータリー章典（＝主要な RI レベルの決議を集大成したもの）があり、クラブレベルでは、①クラブ定款、②クラブ細則、③クラブ内規（＝理事会レベルの申し合わせ、クラブ運営の実務規定）があります。

特筆すべきは、クラブ定款は全ロータリークラブに共通適用され、その改正権限がクラブではなく規定審議会にある点です。

加えて、代表的な組織規範として、「ロータリー道徳律」「決議 23-34」「四つのテスト」「職業宣言」「ロータリアンの行動規範」「ビジョン宣言」などが挙げられます。

これらの規準はロータリー全体の総意として採択されたものですから、クラブと会員は当然に遵守しなければなりません。

### 4.ロータリーのメンバーシップ（会員身分）

会員はかつて男性且つ実業人に限られていましたが、1989 年に女性の入会が認められ、現在は肩書きの縛りも廃止されています。職業分類による入会制限も段階的に緩和され、2019 年に完全撤廃されました。

会員身分については、次の通り規定されています。

- ・ 会員資格の 4 条件 → RI 定款第 5 条、クラブ定款第 8 条
- ・ 会員身分の制約の無効 → RI 細則 4.070.
- ・ 会員の三大義務（例会出席、会費納入、雑誌購読） → クラブ定款第 13 条、同第 15 条
- ・ 出席規定（出席の義務・認定・免除、メイクアップ） → クラブ定款第 10 条

ただし、2016 年のクラブ定款改正（柔軟性の導入）で、例会運営と出席に係る規定はクラブの裁量となっています。

### 5.クラブ統治の枠組み

議決機関たる理事会（Board of Directors）は、クラブの統治主体（Governing Body）として全役員及び全委員会に対して総括的管理権及び罷免権を持ち、クラブの最高意思決定機関に位置づけ



られます。

理事会の管理下に執行機関たる役員 (Officers)、その中に会長、そして会長の下に委員会が置かれます。このように理事会に大きな権限を持たせていることがロータリーのクラブ統治の特色です。

クラブ統治の枠組みについては、次の通り規定されています。

- ・ 理事会及び役員 → クラブ定款 第 11 条
- ・ 会長の選任手続きと資格条件 → クラブ定款 第 11 条
- ・ RI 指針 (CLP) に則った委員会モデル → クラブ定款 第 11 条

ただし、会長以外の役員及び理事の選任方法や任期・人数・職掌、クラブ及び理事会の意思決定手続き、委員会組織の構成等、運営に係る実務規定はクラブの裁量となっています。

## 6. 当クラブのクラブ細則

当クラブでは 2016 年のクラブ定款改正 (柔軟性の導入) に際し、従来のクラブ細則を抜本的に見直し、独自の条立て・構成、用語定義、条文表現により、読みやすく使える手引きとして刷新しました。

クラブ統治に関する諸規準は、次の通り規定されています。

- ・ 理事会及び役員 (員数、任務、任期、選任手続き) → クラブ細則 第 2 条～第 4 条
- ・ 意思決定手続き (会合、招集、議決) → クラブ細則 第 5 条
- ・ 委員会組織 (構成、編成手続き、委嘱権限) → クラブ細則 第 6 条

- ・ 出席規定 (出席の義務・免除、メイクアップ) → クラブ細則 第 8 条

- ・ クラブ細則の改正 → クラブ細則 第 14 条

当クラブは他クラブと比べて、委員会の設置・運営に関する会長の自由度が高く、組織体制が毎年リセットされるぶん継続性の担保が弱いといえます。

なお、危機管理体制と戦略計画委員会については、理事会にて検討の結果、あえてクラブ細則ではカバーしていません。即ち、危機管理は委員会を設置せず会長・幹事を中心に理事会が活動・対処する体制とし、戦略計画委員会はクラブの委員会ではなく理事会の諮問機関として設置しています。

## 7. ロータリー規準に接する際の留意点

- ① 規定改正に当たっては組織規程の基本マナーを守る
- ② 規定改正に当たっては現行規定の背景を知り、意図を解釈する
- ③ RI 規準の公式和訳には不自然・不的確な翻訳が多く、そもそも原語の概念に適合する日本語がない場合もあるので、なるべく英語版で理解する

## 8. まとめ

柔軟性の導入によりクラブの自律が一層問われる中であって、健全なガバナンスが保たれるためには、クラブリーダーがその役割と責任を理解してロータリーの枠組みに習熟しておくことが肝要です。